

お葬儀お悩み解決隊!

式場で見たい喪服の
お困り編②

今回も喪服について、お通夜・お葬儀それぞれの場合をまとめてみました。

お通夜の場合

- 男性**
 - 喪主様はブラックスーツ、準備が整っていない場合は背広に黒いネクタイです
 - 和装の場合は紋服が正式です
- 女性**
 - 黒もしくは地味な色味のワンピース
 - 和装の場合は黒のきものに黒の帯、小物も黒一式です

お葬儀の場合

- 男性**
 - 正式な服装はモーニングコート、略礼服としてブラックスーツとされています
- 女性**
 - 正式な服装は和装の黒喪服とされています
 - 靴は低めの黒のパンプス、バッグやアクセサリーもシンプルなものがよいです



学生や子どもの服装は・・・?

制服がある場合は制服、そうでない場合は落ち着いた色の洋服がよいです

ドリーマーでは、ご要望に合わせて喪服のレンタルや先生による着付けも行っております。もしもの時に慌てないよう、日頃の準備も忘れずに!



編集こぼれ話

4月になると入社したばかりのときを思い出します。

右も左も分からず、道具の名前を覚えるのに必死で毎日があっという間に過ぎていきました。

日々たくさんのお客様のことを学んで、お客様の前にも自信をもって立つことができるようになって、今は後輩たちもいます。

かわら版も皆様に長く愛されるよう、精進してまいります!

(いまむら)



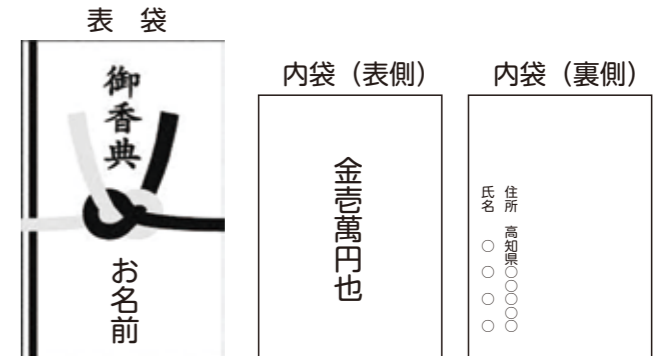
正しいお香典の書き方

通夜や葬儀に参列した際にお持ちするお香典、もとは人が亡くなった時にお香を贈る習慣が、お金を渡すようになったといわれています。

香典袋の書き方には様々なマナーがありますので、ご紹介させていただきます。

香典袋の書き方

- 外袋・・・表書き・名前
- 内袋表・・・金額
- 内袋裏・・・郵便番号・住所・名前



仏教の場合：「御霊前」「御香典」「御香料」「御仏前」

四十九日の忌明け法要までは、御霊となってこの世にいらっしゃると考えられています。浄土真宗では、人は亡くなるとすぐに召されて仏になると考えられています。そのため、御仏に供えるという意味をもちます。

神道の場合：「御榊料」「御玉串料」「御霊前」

御神前に捧げるものになるので、御仏前などとは書かないことに注意です。

キリスト教の場合：「御花料」「御ミサ料」

カトリックとプロテスタント、2つに分かれますが、水引のないキリスト教用の袋を使用し、「御花料」と書くと両方の場合使用することができます。「御霊前」でも問題はありません。

無宗教の場合：「御霊前」

どの宗派も信仰していないという方の場合や、故人様の宗派が分からない場合は時は、「御霊前」と書くのが無難です。

中袋の表側には包んだ金額を記入します。一般的には、縦書きで漢数字かつ旧字体で書き、頭には金、末尾には也をつけますが、必ず付けなければいけない、というわけではありません。

香典の金額が改ざんできないようにこのような書き方をするといわれています。

入れ忘れに注意!

金額	旧字体	金額	旧字体
3,000円	三仟圓・参阡円	30,000円	参萬圓
5,000円	伍阡円・伍仟円	50,000円	伍萬圓
10,000円	壹萬圓	100,000円	拾萬圓・什萬圓